

2019年6月4日

四十四田ダム「ダム湖堆積土砂標本」

～「南部片富士湖ものしり館」にて当社が調査を行った試料の展示～

株式会社アサノ大成基礎エンジニアリングは、平成17年から10年以上に亘り四十四田ダム湖底のボーリング調査を行っています。

ダムは、堆砂量が堆砂容量を超えると、想定した治水機能が発揮されず、ダムの機能低下や洪水などの影響が考えられます。四十四田ダムは、堆砂の進行が速いことから、定期的に堆積物の採取・土質試験および化学分析・沈殿物の分布・濃度などの状況の把握を行っています。本調査でわかる堆砂傾向や状況が堆砂対策検討の基礎資料となります。

このたび、当社が行ったボーリング調査のサンプリング試料が堆積物標本として、四十四田ダム「南部片富士湖ものしり館」で一般公開されることとなりました。

お近くにお越しの際には、是非お立ち寄りください。



<標本作業>



◆展示場所 四十四田ダム「南部片富士湖ものしり館」

(岩手県盛岡市下厨川字四十四田1番地)

http://www.thr.mlit.go.jp/kitakato/07info/44/monosiri_44.html

以上

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング

TEL:03-5246-4150

URL: <http://www.atk-eng.jp/>

経営管理本部 山本、大原